

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 518 号	氏名	MD. Ubydul Haque
学位審査委員	主 査 皆川昇 副 査 平山謙二 副 査 金子修		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、2007 年以降、バングラデシュ高地で実施されてきたマラリア対策の評価と、今後の対策の効率性をあげるために、残存するマラリア感染率が高い地域を明らかにすることを目的としており十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 広範囲にマラリア検査を実施し、蚊帳配布を含めた対策の効果を評価するための研究計画は適切であり、他の感染に関わる環境及び社会的要因の解析に多重回帰と多変量解析を用い、また、残存するマラリア感染率が高い地域を明らかにするためには空間解析を用いており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 収集したデータをもとに、環境要因及び社会的要因を明らかにしたうえで、過去のマラリア対策の評価に関しても十分に議論及び考察しており、残存するマラリア感染率が高い地域を明らかにするなど、研究成果が将来のマラリア対策に大いに貢献しうることが期待できる。</p> <p>以上のように本論文はマラリア研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			